

学校における食育の推進

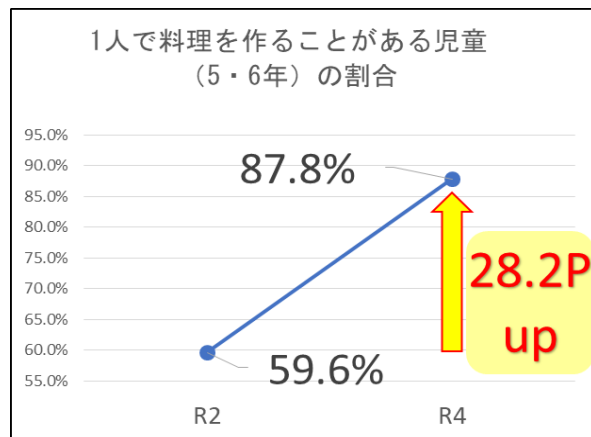
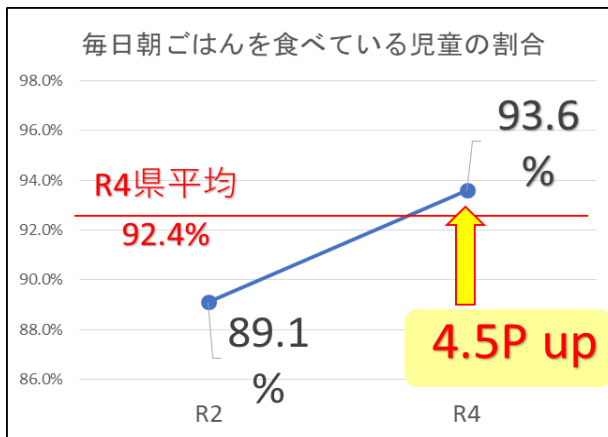
研究の目標

児童生徒の食に関わる資質・能力を育成するための、組織的な食育の推進の在り方について究明する。

研究の成果

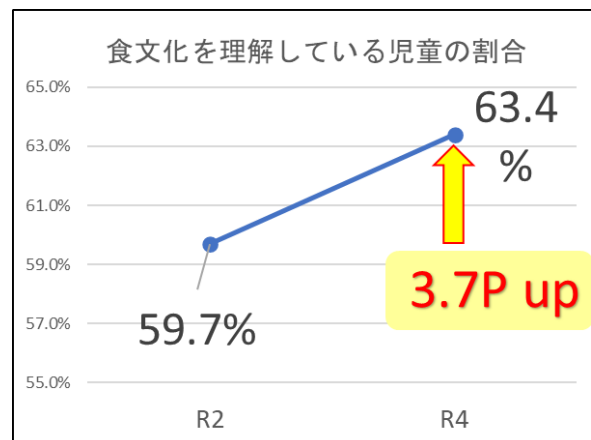
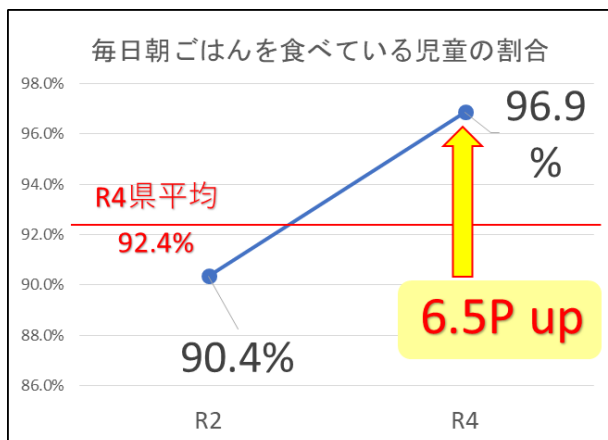
神興小学校の成果

健康を考えた食事をする事、食事作りに興味・関心をもつこと、感謝の気持ちをもって楽しく食べることの**望ましい食習慣を身に付けた**児童の育成を図ることができました。



南吉富小学校の成果

健康な食事や食文化について理解し、健康な食生活や楽しい食事につながるために自ら何が必要か考え、よりよい食生活を実践しようとする**食を大切にする資質・能力を高める**児童の育成を図ることができました。



■研究指定・委嘱地域（校） 福津市教育委員会（神興小学校）
上毛町教育委員会（南吉富小学校）

研究の内容

- 視点1: 栄養教諭を中心に、全職員が連携・協働した食育の推進体制づくり
- 視点2: 学校・家庭・地域が連携した食育に関する取組の推進
- 視点3: 組織的・計画的に食育を推進するための全体計画づくり

おすすめポイント

神興小学校の研究ポイント



学校・家庭・地域が連携した食育を推進していくために、どのような推進体制を整備するとよいでしょうか。

校務分掌に**食育推進組織**を設置し、職員を「常時活動チーム」、「連携授業づくりチーム」、「連携協働チーム」に割り当てることで、学校全体で行う体制づくりができます。
また、**学校運営協議会組織**の中にも食育推進組織を位置付けることで、学校・家庭・地域が連携・協働できるようにします。

栄養教諭や家庭・地域のかかわり方について、「**食育ストーリー**」に表記することで、意図的・計画的に学習活動を展開できます。



南吉富小学校の研究ポイント



栄養教諭を中心に全職員がどのように協働していくと、教育活動全体で食育推進ができるのでしょうか。

食に関する指導の**全体計画**や**評価指標**を**栄養教諭**が作成し、**食育推進委員会**において管理職や学級担任等と関係機関との調整や授業づくりについて**共通理解**を図ります。

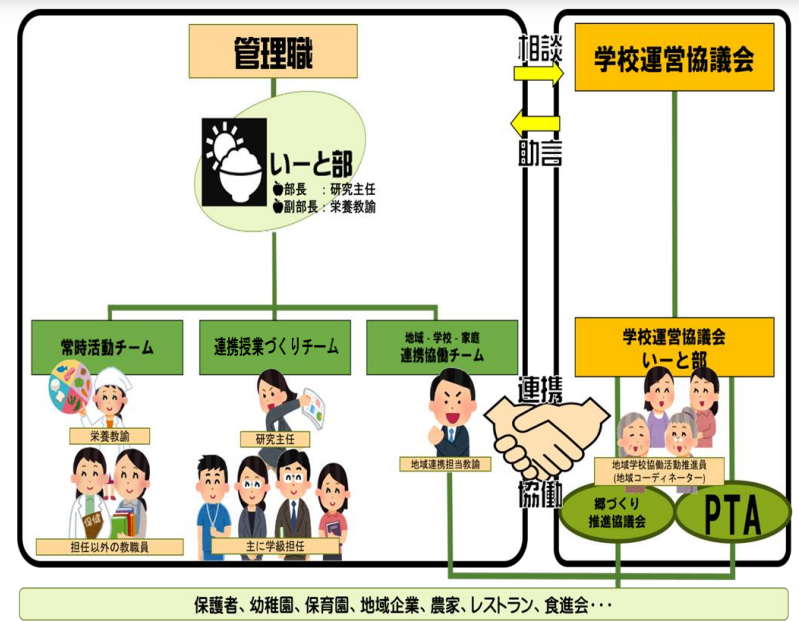
全体計画を基に、教科等と食の内容の関連性に応じて、対象との出会わせ方を類型化した指導資料「**食育レシピ**」を使うことで、様々な学習場面での食に関する指導が整理できます。また、**食育の視点**や**栄養教諭の関わり方**を明確にすることができます。



研究の実際

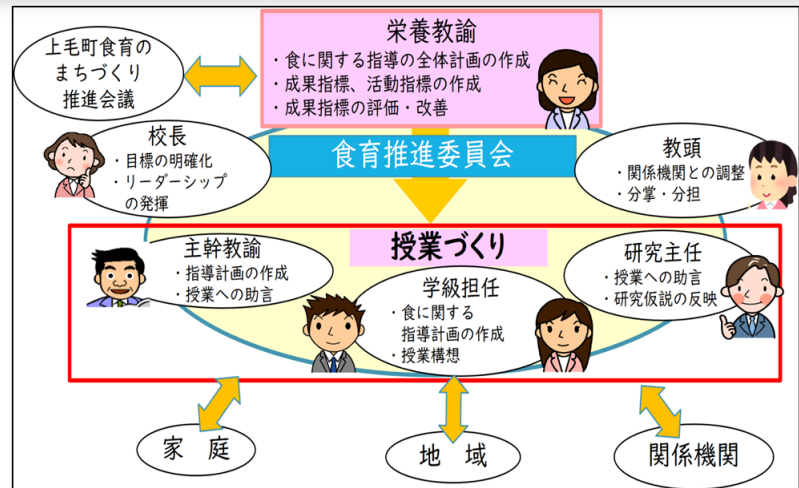
■視点1：栄養教諭を中心に、全職員が連携・協働した食育の推進体制づくり

神興小学校の実践



校内の食育推進体制整備として「いーと部」を設置し、食育の取組を円滑に推進できるよう企画運営を行いました。いーと部には3つのチームを位置付け、全職員が関わることを明確にしました。また、コミュニティ・スクールの機能を生かして学校運営協議会組織の中にも位置付け、地域・家庭との連携をスムーズに行うことができました。

南吉富小学校の実践



全職員が連携・協働した食育を推進することができるように、栄養教諭が中心となり、食に関する指導の全体計画、成果指標・活動指標の作成、アンケートの作成を行い、評価・改善を行います。

食育6つの視点	低学年	中学年	高学年
食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。	朝食を毎日食べる 1日1回以上家族といっしょに食事をしている 給食時間が楽しい	朝食を毎日食べる 夕食を毎日食べている 1日1回以上家族といっしょに食事をしている 給食時間が楽しい	朝食を毎日食べる 夕食を毎日食べている 1日1回以上家族といっしょに食事をしている 給食時間が楽しい
心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を	給食の量を調整して残さず食べる いろいろな物をバランスよく食べている 正しい手洗いができる 歯を磨いて食べている	給食の量を調整して残さず食べる いろいろな物をバランスよく食べている いろいろな物をバランスよく食べている	給食の量を調整して残さず食べる いろいろな物をバランスよく食べている いろいろな物をバランスよく食べている

<成果指標> 食育の視点にそった評価内容を、低・中・高学年で系統を整理し、位置付けています。

■視点2：学校・家庭・地域が連携した食育に関する取組の推進

【地域人材を活かした授業】



【地域自治活動との関連】



食品ロスを減らすプロジェクトの一環で、賞味期限が近い食品などを近隣住民から集め、神興地域郷づくり推進協議会に食品を必要とする方々へ配る取組を行いました。

【家庭への働きかけ】



家庭への直接的な働きかけとして土曜授業を活用して、正しい箸の持ち方を練習し、定着を図りました。

■視点3：組織的・計画的に食育を推進するための全体計画づくり

第3学年 食育ストーリー

【ストーリーの目標】
○3色食品群の働きを知り、様々な食べ物を好き嫌いせずに3食規則正しく食べるためにできる工夫を実践することができる。
○自分の食生活を見つめ、必要な情報を収集し、健康的な食生活を実現するために何が必要かを考え、自分自身でできることを進んで行動することができる。
○家庭での食事や給食は、より健康的な食事にするために、多くの人が工夫や努力をしていることを知り感謝の気持ちをもって食べたり、食事に関わりたりすることができる。

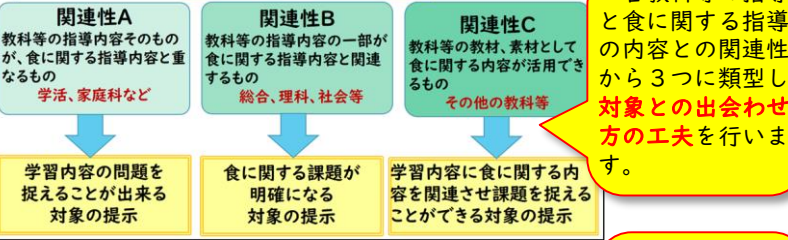
期待される児童の意識の流れと、教師の働きかけの具体を示しました。

栄養教諭、養護教諭、家庭・地域との関わりを明確にしています。

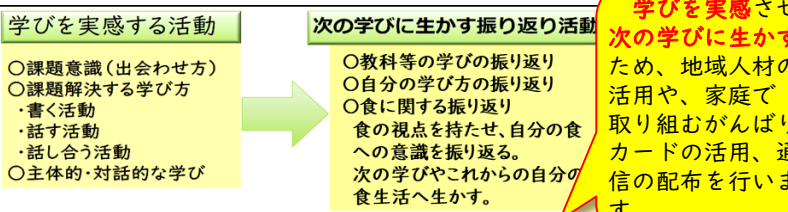
実施時期と常時活動、授業、家庭・地域との関連を示しています。

各学年において、食育に関する取組を教科等横断的なプロジェクトとして、整理した「食育ストーリー」を作成し、学習活動を展開しました。

<食との関連性の類型と出合わせ方の工夫>



各教科等の指導と食に関する指導の内容との関連性から3つに類型し、対象と出合わせ方の工夫を行います。



学びを実感させ次の学びに生かすため、地域人材の活用や、家庭で取り組むがんばりカードの活用、通信の配布を行います。



教科等	単元・題材	食育の視点
社会	☆[給食の時間における指導の視点] ○栄養教諭による指導	① ② ③ ④ ⑤
社会	はたら人とわたしたちのくらし ☆給食に食べられている上毛町野菜について知らせる。【給食レンドー、給食放送】	① ② ③ ④ ⑤
理科	植物の育ち方 ☆給食に食べられている野菜と植物の体の部分について知らせる。【給食レンドー、給食放送】	① ② ③ ④ ⑤
体育保健	健康な生活 1日の生活のしかた ☆栄養バランスをくずさないために、給食を好き嫌いなく食べる必要があることを知らせる。【給食レンドー】	① ② ③ ④ ⑤
体育保健	体の清けつ ☆給食に食べられている野菜と植物の体の部分について知らせる。【給食レンドー】	① ② ③ ④ ⑤
国語	春のくらし ☆給食に使われている「春がけ」の食べ物や行事について知らせる。【給食レンドー】	① ② ③ ④ ⑤

視点1 栄養教諭の専門性を生かした関わり方を①～⑤まで整理し、単元に位置付けています。

視点2 教科等との指導と食に関する指導の内容で関連性が高いものから順にA、B、Cに分類し、単元に位置付けています。

系統的に指導できるよう、視点1、視点2を踏まえた学年ごとの具体的な指導資料「食育レシピ」を作成しています。栄養教諭、学級担任それぞれの立場で、PDCAサイクルに沿って全体計画の見直しを行っています。